

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル（科目名）		授業の種類		授業担当者	当該科目に関する実務経験
乳児の発達と保育Ⅱ		（ 講義・ 演習 ・ 実習 ）		青田 由美子	保育士
授業の回数	時間数（単位数）	配当学年・時期		必修・選択	
15 回	30 時間（1 単位）	1 年・後期		必修	
[授業の目的・ねらい]					
・ 乳児保育Ⅰの内容を踏まえ、より具体的な乳児保育の方法や環境の構成等を学ぶ。					
[授業全体の内容の概要]					
1. 3 歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。					
2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3 歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。					
3. 乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。					
4. 上記 1 ～ 3 を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。					
※「乳児保育」とは、3 歳未満児を念頭においた保育を示す。					
[授業終了時の達成課題（到達目標）]					
・ 乳児保育の実践力を習得する。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
1. 乳児の発達と保育					
2. 0・1・2 歳児の発達の特徴と保育の中での留意点 0 歳児保育において					
3. 0・1・2 歳児の発達の特徴と保育の中での留意点 1 歳児保育において					
4. 0・1・2 歳児の発達の特徴と保育の中での留意点 2 歳児 3 歳代保育において					
5. 乳児の発達を見つめる視点					
6. 乳児保育の内容と方法					
7. 保育園での基本的生活					
8. 基本的生活の内容と方法①					
9. 基本的生活の内容と方法②					
1 0. 基本的生活の内容と方法③					
1 1. 基本的生活の内容と方法④					
1 2. 特別な配慮を必要とする子ども					
1 3. 乳児保育の内容と方法					
1 4. あそび文化					
1 5. 期末試験					
[使用テキスト・参考文献]					
改訂 5 版 乳児の保育新時代（乳児保育研究会／ひとなる書房）					
[成績評価の方法と基準]					
教科出席率が 80％以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。					
・ 考查点 (75％)					
・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。					
・ 平常点 (25％)					
・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。					
・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。					